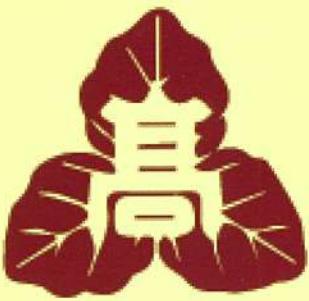


記和母談食一信期か竹二、六しそ年。高前活駒田か駒赴開ア五  
念や校笑事期雄ら坂十辰期たれ度収議校向動川直ら川任催ル月令  
撮かへ、と、三服美一田。ぞ事支事をきの校久は一ささカニ二和  
影におお三十宅部津期会石写れ業報で取な活長会昨彦れれデ十五  
を校熱一酒宅七正豊枝、長川真満計告はり話躍か長年校ニまイ一年  
し歌い人を良期寛、義は場画及令巻をやらに就長年シア日度  
「齊思づ頂」、「十柳中之前一・び和く」はお任先目た市正第四第  
来唱いつき、「三二五八瀬山」（列致収監四状辰今、越さ生の。ケ午四十八回総会が  
年・やのな三宅十期期百正五左で支査年況田後進しれ、母谷より  
の万、近が十光三、合雄期か承予報度を会の学いた卒三校私  
再歳昔況ら五寛期槇、子支ら認算告の伺長展状た三業十が学  
会三話報和期、昇後、部駒大さが、事いか望況だ十生五ら会  
を唱等告や、二日、列八長川羽れ、令業まら等やき期会期は館  
誓と々でか。十野三左期へ校登ま、和報しは、部、の本の昨で  
はに原十長、五告た辰部年

## 令和5年度総会 開催親会がされました



# 東京矢高会 ユース



ちし気にして、が、も東う本酒の変最は、つはそのり。少ん会こニスズ後懇つ  
やてでしけ骨、中八七京で全場中な終三當て電のおやどなさにで次トニは親て  
ーんま長てん折ま心十矢す体へ、賑日社日浅車後、えがいる出も会ラ階話会閉  
した生、よしくで歳歳高がの。民わで祭浅草に有とえあの方ち、ンの足終会。  
い来き元うたれす代代会、そ日謡い大の草へ乗志。かすおがや総そでレり了。

と來と一二参期期付し会、卒と落こ人しつし付ん才、しの、七  
い年聞期十加の、くた總で七業思ちののたてまでク私が訪そ月この  
い是い、期が方四、会行月生い着夏体。少いがいらは言れしかの  
と非て、多た十今にわ一會まいは調水しま悪まを、いをてら夏  
思おい、二くち九九回初れ日總すた増も加いしくすブ毎よ樂十真は  
い帰まと十あで期期のめまに会。日え同減たた多がラ年うし月夏大  
まりす〇一り、準てし矢に、日々様問だ。く、ン、のめににに變な  
し頂。期まこ五二備參た上參をして題けやが花タナなるななり猛  
たき同一、しの十の加矢の加。院思よとの咲栽、日月。暑  
ご期の三た期九九世を上し私參に付十の期期話し高いま  
の加なく期來方、入て校こしました。も今すいう十まけ培ピ々が穩八で  
同さる期、年た六三はき卒いた。おはるまに月まどし、で消や月八でした。  
期れ方の三はち十九ま業の過少回すなに落もてマしえか月八  
はるは方十の九九の生村ごし数がりなち実樂ンたたな月  
も、まてのし、と秋と

支部長あいさつ  
卒業生会東京支部  
支部長 中山正雄  
(二期)

事編発行局	発号行数
三千三中卒島第令葉 九市宅山生県二五 一綠四区良正東矢上 四高一津二雄支部 三戸〇町五	行十年 三十号 月三十日

〈 第 23 号 〉

両親・田舎・  
矢高に感謝

せんが写真はその時のものです。  
を 参業ゴに、 楽  
大 こ加し爾の十おしひみさんにはお会いできる日を  
事れをみフみ一知みんにはお会いできる日を  
にか期にが参月らしにしてお会いできます。  
おら待しで加のせきゴをおいります。  
過寒してきしゴをお届けしていきます。  
ごくっています。に私は宿泊懇談会が  
しくります。が私は宿泊懇談会が  
だます。皆様の会は  
さうが、 お体



し一異で引なじの五コまコ三新  
とま常話すきどたでい年口す口年型さ  
つあなは暑さで變わりまます。続のマ、ま一ナがナ半コで、  
ても暑うてやれい田今まこと暑の夏は、き気ス感だの収、禍が口  
まこよ舍年おで言え事も仕ば、継をク染に通束専前経ナ令  
わんの弁年での言えば、続緩着リ感りま門の過ウ和  
しめ用ス染なで家生し、ル年早  
たず、ク者との早の活ほ予アをのかく意に現入感々  
が対コら生し三でたは症ら  
い策すもれ年あるとはほ影響も  
いはル状あま長る一言は  
よう消況りせくて  
応す。

を工思す高経 今々「身」より年を二最ル見  
Pリうる速過高はな本体部多う間通年後部と。  
Aアことをし校感場當を活くなはじ三の。  
Aアことひま卒謝面に鍛動の生下て年高所中  
Sはがたし業のが有えにこ活宿寮合原屬学  
の施A「あ走た後氣思意るもと環生生併分し・  
が設」高りり。、持い義こ專を境活活後校、高  
あ等、速ま、時上ち浮など念学をををので中校  
りのバ道す邑折京でか体ですば与さ。瑞冬学と  
ま充、路が南、しいん驗健るせえせ矢穂季一バ  
す実キの、町自早つでだ康てちて上中寮年ス  
。ぶンサ最に家四ばきつにと頂や頂高学生生ケ  
りグ、近帰用十いまたもがくんき校校活のツ  
にエビ特省車一ですと繫でとしさ「でで、時ト  
はリスに で年す。、がき共つ思の年中にボ  
目ア が。 様り、にてう三間學は」

# 私の故郷、邑南町

自とつ健つの もや翌い 言かんゆ  
愛東考つ康たこ今の生朝だ小葉ねでわ  
く京えへ根と後と活まりさも。い  
だ矢て一の性はのながで魚い忘しきの  
さ高い日感と読人つ変觀を頃ればいお  
い会る一謝体め生てわた釣つけ付  
。の今日と力ま、いりりつ想しくけま  
皆日を今でせ生る今したいま使ちあ  
々こ大の、ん活よでたり出いつや水  
様の切幸家がにうはこ、せまでんう  
、頃にせ族、つで出と石ばしいさし  
おで過をを田いす来も見、たないやん  
身すご感含舍て。な、神川。いーん  
体。そじめで先 い環樂で 田でと  
ごう た培々 境を泳 舎すす飲

まもだ東の、思あいてしあが人、思くのまき私憶ツ中ぐ達石 後つま(草すなけ京東卒大いにいたてま、口小い前九修たまのがト学らの見中だたす確木がいでで京業学までいるまり矢減・出か州学中せ代あ)でい学中学つりがかの故、一田暮後進すの町よし変上少中しら、旅学んはりではだ年学校た会、ク香郷と日舎らは学。このうたわ高がはまワ3行三で好ま過、つは校はりつ一ヌり独口が話し島でと人で、ら校そ学すク泊は年し成すごほた2に、た本ギー、特癖かしに根故知のりを至も郷ら風よ、すつ離をな景う回るてれ離い、にりとまてれ人虫言に、す、松ものつ何行。現江知声てにく 在に

、達若県なはの区非の者外い当ま内常思に入生時まのにい来学徒の影た嬉やて者数生響めし活ももを徒しく動ら増維数ま町を行線日がえ持とすの

。ワと、時た績がしほ思ク通現。ク言初の。を、て部いらい在。しうめ九。収残い活まスま建。既なだつにく誰たど思られとばい

て事て州。め念た動すでして。いもの三。るなよへ。八た直。事がうバ。十がし。がらなス。人、中。私の

たあ新泊。がらなス。で、記ケ

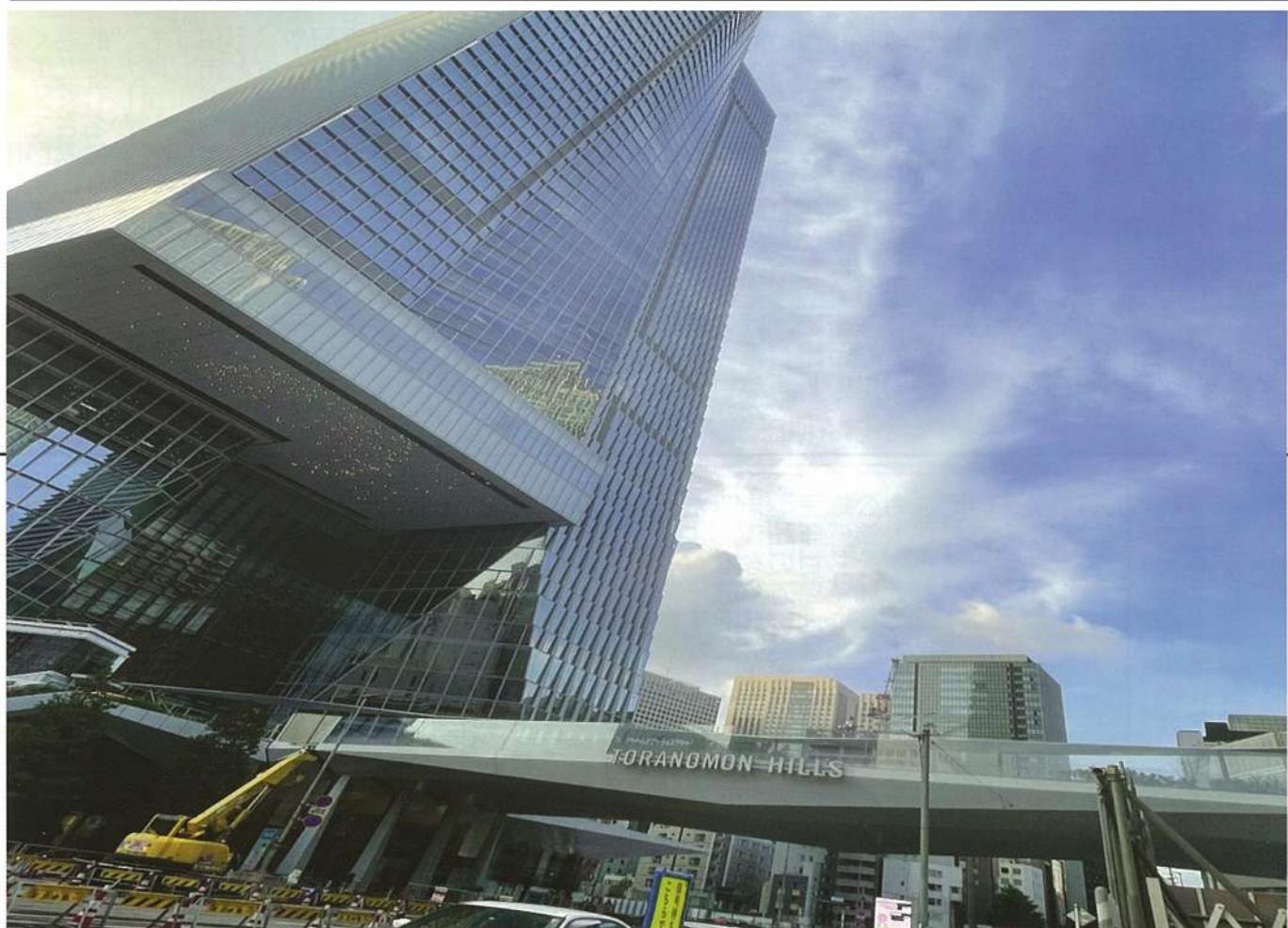
のや一 さすでデに、取振と受二  
日バカ右にねすイ東、私りり思けユ七  
々ス月もび。ズ京矢はま返案取一月  
でをは左つ今、ニへ上一しつシリス初  
し間自もくさな「來高九たてま旬、  
た違宅分りらんラま校八  
。えかかしなとんしを三  
なららまが四ドた卒年  
い学なすら十が業(昭  
こ校い。時年開東後、和  
とへ中)のも園京進五  
が通、流前し進学の八  
やう最、れなたの年  
つ電初、の年速で  
為年

みしさへ  
よたがどう  
うと思  
立しもを矢  
ちたの筆頃か  
をを、

## 「東京へ上京した頃を振り返って」

荒瀬恵子(三十五期)

しを し空べてまもな 目後しで 慢るたり  
て直定てききもまあい昔的にた、両で霧か合  
い接年い家課始現り、はが父がく親き囲らい  
ま感後まを題ま在ま戻、法、つ健る気思の  
すじにす。う一ず至たう郷に亡〇いの郷自出う  
につ、「りがかになく一で頃な分すな、人達、  
かとこ、「な戻つし四、はんの、人達、  
ししれあ行、らてて年ま、だ田自達、  
よてかれ動となしかにつ帰と舍分  
う故らこで考いまら母た省思でだ昔  
、郷私れきえといは「りがつあけ住  
とのが後なるいま帰四し樂てりがん  
計画 や悔い時けし省年てしま、分で  
るし 期 たの まみす自かい



いはかば自は行 しお会参活授 思 でいにク美で子の堂でながしくば構な店クご庄 座使われ京つゴ  
つ覚らな宅同つ前た手が加動業ゴいもも 、「ラ味もど方パすらつくさかえビをラし倒沢へうかる育隣一  
ばえ日りかじた回 伝銀しーも」出う思申がスし入もが! ばかないりるル選スたざ山 駅らこちにデ  
いて比まら沿銀 い座始マ本ルが一いしつメいれだ魅ラし、りいおのそとんメ後れの  
でい谷せひ線座ク をでめン格デあつ出訳かイもるっ力! か絶し、店私のビでイのつビ  
しま線んとのでラ すあたド的ンリ、しなりトの「た的やし対てとににおるくトタつる  
たしにでり同すス るり頃りにウま銀まかしがを銀のにフ、にしい見は店のれは食もや  
。た乗しで級がメ こ、ン始イす座すつた選! 座で見ア当感まうえ地は間ま老に樂々々  
がりた向生、イ と受先クまーで。た顔んとなすえ! 時激いよ、味、し舗、  
「換。かはクト に付輩ラミークのなをで折らねたスのすまりあで東路たの  
不え中わおラと ななどブークがほろ苦い。のト私るしもま田京地。金飯  
安る目ならブー ありどのは学でフははた。嬉来にやの  
でこ黒けず内緒 まの演にラケ 今したの生す! 資ず。ド生 今 たかお  
と駅れ、に 奏もブて まの

## 近況報告

終り、か  
暑が  
たたずま  
に秋を過  
いた。ま  
に夏が  
季節の移  
り変わりを  
感じた。

まもれ時かてび大都、な苦段後着、てなもな決アス表でか電な中着時 つは  
す得対まはたいつ規市と東りい々そでい、もいのんしブマ示すら車り目い間案ば覺  
難照す、やきく模だて京ま思とれした。建のとてリには。ずのま黒てののいえ  
い的。時邑、りなどもはしい慣でたのや物事、か電もトあ電、どし駅い二定で  
ものすが、なあ、どちらの時間 ま間南常す都思工変た出れも、はっの前今銀車あフリ車何れたでた時、しい  
だが、なあ、どちらの時間 まが町に市いキ化。はて生、と場に度座にリイまに本に。足に間余たま  
ゆのワほ開まサの、い活、集の所渡は駅乗まンせーも乗次止も前裕。したが、不安で  
つ親クど発すイス、今きして。合思がざ出へりせでん銀見れ々め閑にを持つ  
た戚ワ街で。テビ、では四いく。時いわれ口到込ん乗。座送ばととわは持  
りへクがは近イード、笑十く。時間でかたが着み。換今行つ良発なら中目黒駅合  
と電し変、年ンドのグが、の目ら地わし。意案のきてい車るず、黒駅合  
感話まわ、じする。な速く、4的な図かたを内よーいのす羽目に  
じする。な速く、5地いをらうのたかる目に

うもの同なも公痛三 まみた親した綺のの久実し広が でそ先つら ‘忘あ皆 つ し  
うんあ封が公演感年私まんよ戻てだ麗方周し家て島あ今すん生てれそれりさ三 つ し  
「かるさら演をし目のななうのいおににりぶへ、空り年がながいるのてまん十しにす。  
宜一方せおを開てを方ら歳で方な墓草毎はりと空港、の。  
し回、て言予催い迎はなをすがいはが年シに足港が出おく見な頂葉定しまえ、いとがおよし刈おルしをから雲盆  
おいいきにしてす、立よつ、參うばら願バテ伸らレ空は  
願行方ま甘てお。継ちうてだりでられい！きば松ン港松  
いつもしえおり年続上でおんしきてし人まし江タで江  
致て一た、り、にのがす参だてた誰いて材し、力はに  
しみど。チ、お数難た。りん頂。もまおセた墓松」な行く  
まちがごラ勝正回し法 もとい以おしりン。参江をく、機  
すやあ興シ手月民さ人 て前参た、タおりか利  
。 な味を に謡をも いはり。 | 墓をら用

令和六年度年総会  
五月十九日(日)アルカディア  
市ヶ谷私学会館で開催予定

さ思がな 聞、言やとなこじおがさやとちあい のうこえで しがののえ。た時  
 いいあるわき矢ようらうけつやりあるらうゆ言つさ意比まつ、の思た一お問、東ま代は  
 出しけしん上おか一もえち人ん言か一もううもあ味較いち忘生い。最。題は京ににあ  
 しょえもさの思。コロ。じ前さうもコロ風がの、も的例のれ活出  
 んう一矢つ親い思、こ標やでるか知、こに、逆今あ一文ほとがし  
 さに矢上た戻出いんし準別言ま。れんしす矢で回るとがうん長ん  
 つや上ゆもやし出一語のうあこん一る上、のかか浮がさいさ  
 たあ弁うえ同んし、やで意ちがつが言やでじ標矢も一かずつしつ  
 ら。離え級さち矢ら言味や。ち、うら。や準上知よばんた、た  
 教ど次れで生らや上一うをあいで矢人一標ど語弁れんどう普か  
 えなので。にんん弁も一持いや使上もも準がじのんぼわえう段い  
 ちた号だ 電かさでろ つけ、う弁おろ語あや問などあえ。使な  
 やかでい 話ついどこ とまこ人じりこじ言あ題あ。で一わ。  
 んはぶ したよがし るあつはやんしゃうこは と何一ん都  
 ど てら。あ げ。ち ど かが かか、 け会  
 でのい号けよ

## 矢上の方言

令和六年度  
市ヶ谷十年度  
私学会日年総  
館アール開催デ  
予定ア

まけた令い。よ振の場幸払よ何まごら、まいおおか  
 すて方和た尚う込力合い込う度す協れ在すま納りら本  
 よなの五だ下み、で取にで。力る校。しめまの支  
 ういご年記す手ド現す扱なも一くよ生経た頂す会部  
 お方芳年まの。数や金。票つお口だうの費。き。費の  
 願ど名会し年よ料通でAにて納千さ積活節心ま本と運  
 いうで費た会ろが帳はTておめ円い立動減よし年寄當  
 いぞすを方費しいでなM、り頂とまものにりた度付經  
 たご。おのをくく手くでおまくしすし応努御。も金費  
 し協ま納ごおおら続ゆ送納すこてよて援め礼有大では、  
 ま力だめ芳納願かきう金め。と何うお等周申難勢運  
 すぐおい名めい安頂ちざ頂同が口おりに年しうの當皆  
 だ納たは しくくよれけ封でで願ま役行上ご方さ様  
 さめだ、 まなと銀るれのきもいす立事げざにれ方  
 い頂い するお行 ば る、し てや て

令和五年度  
お年会費とお願  
い

- 十口 太田周枝 (4期) 中山正雄 (21期)
- 八口 伊崎悦子 (14期)
- 三口 石川義之 (5期) 山田勲 (18期) 服部豊 (15期) 酒井富雄 (22期) 神田恵介 (13期)  
楨昇 (30期) 三宅良二 (35期)
- 二口 日野山勉 (10期) 上田一夫 (22期) 一谷邦夫 (9期) 三宅雅寛 (23期)  
日高正行 (10期) 森脇誠 (31期) 斎藤均 (19期) 古賀真知子 (26期)  
日野原育生 (8期) 竹坂美津枝 (18期) 中岡庸修 (15期)
- 一口 椿美津枝 (13期) 伊賀美穂 (21期) 小林千賀 (13期) 森岡武 (14期) 飯田康之 (53期)  
日高早苗 (12期) 江藤洋子 (13期) 倉持桂子 (14期) 岡部輝生 (21期)  
枝久保美千恵 (10期) 植田豊 (13期) 門屋邦子 (12期) 辻井道子 (11期)  
今田幸江 (19期) 上田昭臣 (17期) 吉里輝子 (13期) 浅原恵美子 (21期)  
岡部健 (28期) 島村不二子 (19期) 神田信子 (23期) 高山恒子 (15期)  
柳瀬百合子 (8期) 月森敏雄 (32期) 伊東順子 (23期) 稲田聿 (8期)

ざ改し長、との  
いめたよ河こ歌前  
まで。り井ろ詞号  
しごスご正、がで  
た案ツ連之花一明  
内キ絡、本部渓  
しりを十保不寮  
まし頂三博明歌  
すまき期、との  
。し判、十ご三  
有た明関期案番  
難、し西、内の  
う、ま支先し最  
ご、部輩た後

三  
人 溪  
そ生 も流  
希れば深ろき  
望青る紺紅よ  
の春かの葉く  
血のに野にせ  
潮意思辺色せ  
波義うや染ら  
う深と星めぎ  
てくきのして  
り かけ

## 明溪寮寮歌

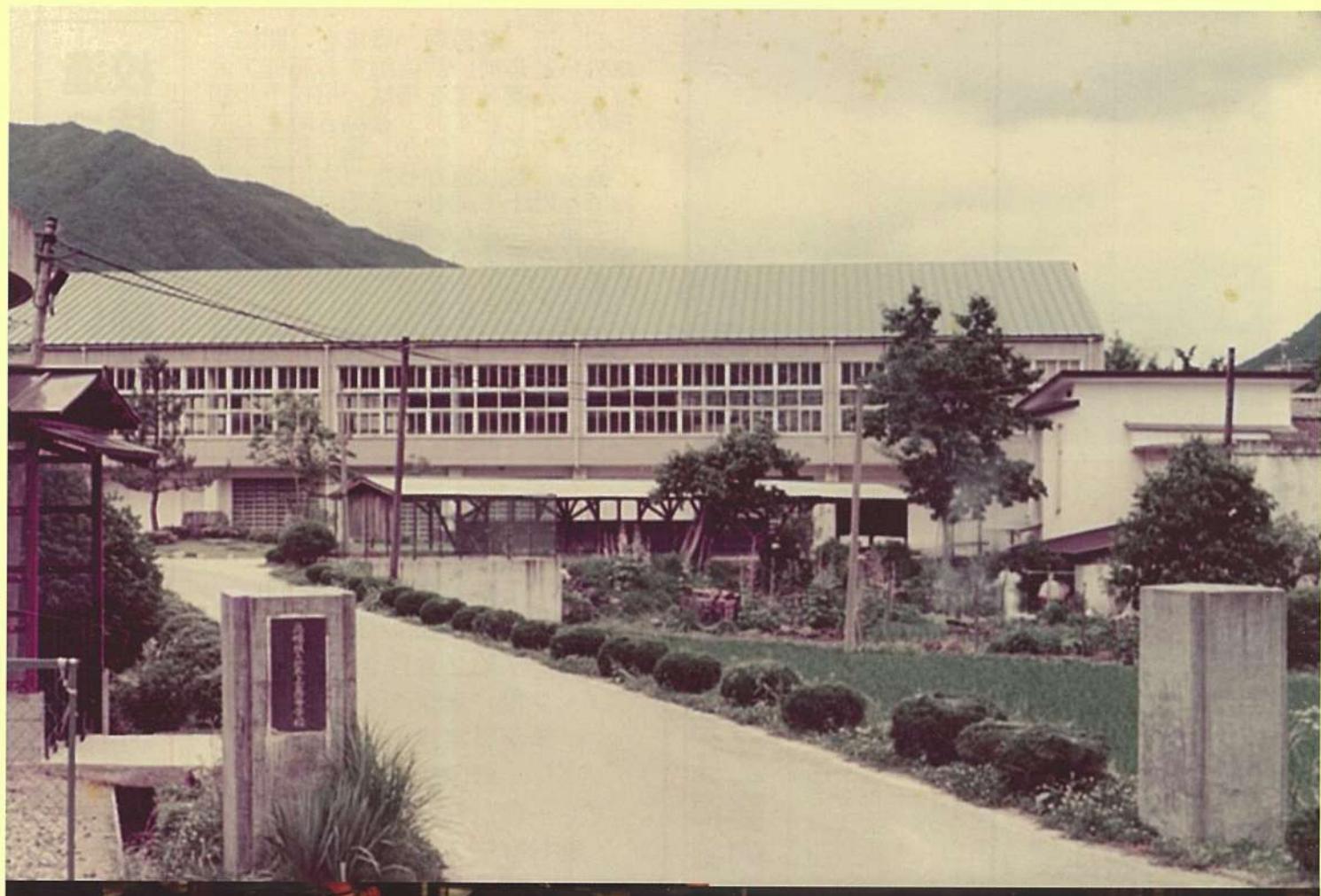
年会費 一口1000円 何口でも  
口座番号 00140-0-72177  
 ◆金融機関からの振込用 口座番号  
ゆうちょ銀行 019(ゼロイチキュウ)店  
当座 0072177  
口座名 矢上高校卒業生会東京支部



明真上写が  
ででの真れ東  
す。し写  
うは  
。校  
撮  
られ  
た年  
月は  
年ごろの  
不写



アルバムより懐かしい写真。総会の一場面  
。懇親会には地元から来られたのでしょうか。  
。同級生のお父さん、お母さんか。



ま活将郵しさQ  
す用来送れR事  
のすはでみてコ務  
でるメごていー局  
。よー案くるド  
うル内だ方で私  
にやしさはすの  
なしていぜ。L  
るーい。ひLーI  
とNま現スI N  
思Eす在キNE  
わ等がはヤEの  
れも、ンを



がて写下返い見のそした  
あい真さ信るえ写うよし今  
りる。いハ写ま真なうま回、  
まのお。ガ真す。料かし  
しでそ三キ、。若理。た懷  
た。よく線感影会輝団親何し  
う安で想がのいん会年い  
。来唄なあ着てでご写  
盛節わどり席いい美ろ真  
んをれ聞まさるる味のを  
な唄てかすれよ先し校  
時わいせ。てう輩い舍載  
期れて に方 でい



を初いほ 名思恩 恩まを、開に  
おめらと卒前い師皆師すお高催ア令  
待てん業をまを様は。招校予ル和  
ちのしどし記すお方ど一き時定力六  
し企やでて入。聞かな逢し代でデ年  
て画る、数し返からたつよにすイ度  
おでと叶十て信せーでてうお。アの  
りす思わ年返ハい番すみと世来市總  
ます。いな経信ガた逢かた計話年ヶ会  
す多まい下キだつ一い画に度谷は  
くす恩方さにきて 高しなの私五  
のが師がい先たみ 校てつ總学月  
ごも。生いた 時おた会会十九  
返信 のとい お の生はで日

## 校逢つてみたいは高 時代の恩師は高

し格 ま石でが近と食千ゴか し矢の  
て別南し川す美くい葉ルつ昨ま高ご昨  
おで房た義。味のうて県フて年し会案年  
りす総。之宿し房企、富を日はた懇内に  
ます。の 泊い総画翌津樂頃養  
す大内 五先と半で日市しの老  
勢房 期や評島すゴのみ疲温  
のか ご判な。ル海まれ泉  
ごら見 参加る先ルのら今フのしをの  
るを富 輩フ竹で回とうた癒黒  
お士 に場岡はのをま。し湯  
待山 し手清の宿樂い本、に  
ちも 頂等荘料漁もん度日  
ときは 理港うをは

## 懇親第十一回東京矢高内会 ゴルフのご案内会

日時 令和5年11月27日～28日  
宿泊 富津市竹岡 「竹岡清監荘」  
千葉県富津市萩生160  
☎ 0439-69-8638  
1泊2食付き 10,000円  
ゴルフ場 東京ベイサイドゴルフコース  
千葉県富津市竹岡4277-2  
☎ 0430-67-2611  
プレー代 9,500円(昼食付)  
28日コース(out) 9時48分スタート

よまげし募業合よおきS明およ世矢活そてがなした届宛を引少はに本れの入のない協  
ろすよた集務わろしゃNる手すう代高用こい、「くたりい先超き子年敬部存確学魅統ま力日  
しのうけしだせしたあSい伝。にの会しでな若な。でた不え繼高々意や続保生力廢てす下頃  
くで「えてけてくげな「方いごす卒のた今いい実現り明てい齡減を邑しなを化合久。さは  
お、と、おで当およいそを頂協る業活情のよ世た際な、でいだ化少表南てど迎にのし少い東  
願でい時りも会願うこが大け力こ生動報時う代こに名U戻ま時をしし町い「え努危い子ま  
いごう間ましのい」とあ募るいととを発代にのと上簿・つしの感てま等る数、め機で高し矢  
しお方もすて事いいだな集方たを繫知信で思フも京は「てた名じおすのこ々寮、をす齡て高  
まし、あ。頂務たうけこ中、「だ計がっをすわオあす三タきが簿てり。先との町はが化誠会  
すちフる一け局し方えとでそけ画りてしのれ口るる百」た、「はい人当輩、施新外ね、がにの  
。やオし定るをま、わなすのるしを頂てでま」と卒名ソリ毎三ま口支方卒策設県の母社有活  
ん口、年方、すどしら。方方て持き、Sすが思業をさ、年百す減部・業をや外け校会難動  
さ「やでを発。うが、一面、おて、東N。出い生切れ訃数五。少の関生実下か、は問うに  
いしつ退大送 ぞてわ に りる若京S 来まがりる報名十私・会係会行宿ら高一題ご  
た職 ご い を す少ま が 名が 員者 さ先の校時にざ

## 大募集

どどがしてこ喜テ思ま皆 と生頂比御ご てあ体ですやつ案お矢ま  
うう誤ま頂れ寿「いす様次こ活きべ礼ざ今いり力いがると内り高し今号の  
ぞぞ字すけま等マ出。か回ろのま比申い号るま気る、こ安チマ会た懇この  
三ごお脱。れでをは、身ら発有総し較しまにこせ力よ急と心ラし懇こ発  
宅自許字編ばの記自我近の行難決た的上しもどん共うにがしシた親と発  
愛しが集幸人念由がな寄はう算。若げた寄で。にに集多てをがゴ、行  
良愛下あにい生して青こ稿來ごの年いま。稿すま低感中いし同。ルおが  
一下さりはでをてす春とを春ざ時齡世すこ下かあ下じ力とま封ふフ詫例  
二さいま注す振。時かお三い期的代。のさらどすてのいいしるの前申より  
三い。し意。りご還代ら待月までにの今場い。れるお持うまたさことに上も  
三十。年たし宜返自曆や、ちのし、サ皆回をま ものり続こしこと会はは上も  
十五。末折てしる身や人趣し予たおラ様はおして 好はま力とどた。でのとげ遅く  
ににおく機の古生味て定。忙リか今借て きしきすがも。低あ で、会思ます。  
向はりお会 希等やおで しらまりり有 でよ。年下り ち報つ  
け、ま願に 々旅りす。 いマ寄でし難 つが々しま  
すいし の ン稿にてつ よにて



## 編集後記

令和六年年度年総会  
市五月十九日(日)アルカデイア  
ケ谷私学館で開催予定